



浮間公園

Tokyo Metropolitan
Ukima Park

凡例



お手洗い/トイレ



だれでもトイレ (多機能トイレ)



電話ボックス



ベビーベッド



ベビーチェア



水飲み場



駐車場



障害者等用駐車区画



カフェ



赤ちゃん・ふらっと



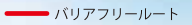
自動体外式除細動器 (AED)



案内所



オストメイト用洗器具など



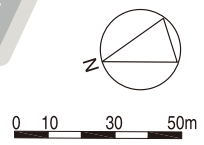
バリアフリールート



浮間ヶ池



風車と浮間ヶ池



発行 指定管理者 公益財団法人東京都公園協会 2022年6月
<https://www.tokyo-park.or.jp>

公園へ行く！

検索



浮間公園

Tokyo Metropolitan
Ukima Park

公園について

浮間ヶ池

ここはかつて荒川の本流でした。昭和初期に大改修し、築堤により残った部分が、浮間ヶ池の原形となりました。面積は約4ha、水深2.5m、昭和52年（1977）より釣りができる池として全面無料で開放しています。リール、ルアーの使用、投げ釣りはご遠慮ください。

水生植物

池の北端には、この地が荒川のころ岸边に生えていたアシ、マコモなど水生植物の保護区があります。また、この東側には水生植物園があります。

サクラソウ

日当たりのよい河川敷には、昔はサクラソウが自生していました。今では河川の改修や護岸工事で野生のものは絶滅しましたが、その品種を残すため、公園の一画、約1,600㎡の苗圃で栽培しています。春には一般公開を行っています。（開花時のみ公開）



水生植物園



浮間ヶ原桜草圃場

レクリエーション

園内には、野球場・テニスコートの運動施設や、冒険広場・ちびっ子広場など遊具のある広場があります。また、春には桜が満開になり多くの方で賑わいます。毎年夏休みに合わせて開放されるじゃぶじゃぶ池では水遊びができ子どもたちに人気です。（おむつの取れたお子様から小学生までが対象）

バードウォッチング

水辺の公園だけに水鳥の姿が目立ちます。東京湾からはるばるカモメが飛んでくることがあります。中でも一番多いのはカモ類。11月中旬から下旬にかけて900～1,000羽のカモが飛来し、池と荒川を行き来しています。



水鳥たち



カルガモの親子



じゃぶじゃぶ池



ちびっ子広場



野球場

公園基本情報

- 開園年月日** 昭和42年（1967）7月26日
- 開園面積** 117,330.24㎡
- 所在地** 板橋区舟渡二丁目、北区浮間二丁目
- 交通** JR埼京線「浮間舟渡」下車徒歩1分
駐車場（有料24時間）
35台（うち身障者用2台）
- 主な施設** 野球場、テニスコート、こども運動広場、冒険広場、ゲートボール場、じゃぶじゃぶ池、ちびっ子広場、バードサンクチュアリ、水生植物園 など
- Twitter** @ParksUkima

問合せ

浮間公園サービスセンター（当公園に関するお問合せ）
☎ 03-3969-9168 〒174-0041 板橋区舟渡 2-15-1
（8：30～17：30 ※年末年始は除く）

東京都公園協会 本社（協会の事業全般に関するお問合せ）
☎ 03-3232-3011（8：30～17：30 ※土日祝日、年末年始は除く）